

「平和研究入門」年表

※人事については平和学/平和研究入門担当教員についてのみ記載した ※キーワード、プログラムタイトル等は出典元の表記に準拠して記載した ※☆印はノーベル平和賞

学園長	学長	年度	講義名	担当教員	シラバスからキーワード (文言はシラバス表記通り)	できごと	大学での平和関係プログラム	大学のできごと、 学科変遷、人事	大学入学者数 ( )は定員
宇都宮信哉 (1975)		(1972)				5. 沖繩返還 9. 日中共同声明調印			
		(1973)				10. 千田夏光「従軍慰安婦”声なき女”八万人の告発」刊行			
		(1979)				10. アウシュビッツ強制収容所を世界遺産リストに登録			
		(1982)				8. 鶴見良行「バナナと日本人」刊行			
		(1984)				1985.3 100円ショップ固定店舗開設			10. 新キャンパス委員会・教育計画委員会設置を理事会で決定 10. 多摩市南野の土地・町田市小野路の土地購入を理事会で決定 1985.2 「恵泉」348号にて新キャンパス委員会(理事会)計画の公表 1985.3 多摩キャンパス用地、住宅都市整備公団と譲渡契約を取り交わす
		(1985)				8. 中曽根首相、戦後の首相として初の靖国神社公式参拝 —アメリカで「生物多様性」造語される			4. 幸田三郎新キャンパス建設準備室長就任 4. 新キャンパス建設準備室発足 9. 多摩キャンパス起工式 1986.2 新キャンパス建設事業募金始まる
		(1986)				4. 男女雇用機会均等法施行			6. 多摩キャンパス定礎式 10. 短期大学英文科移転 11. 英文科多摩校舎献堂式
		(1987)				12. バレスチナで第一次インテリファード発生 —欧州フェアトレード協会(EFTA)設立			内海愛子新任(短大) 4. 大学校舎新築起工式 12. 恵泉女学園大学設置認可
村井資長 (1976) 秋田稔		1988	平和学	栗野 鳳	真の平和や世界を創り出す目覚めた女性を育成するという立学の趣意に添った重要な科目のひとつ、新しい試み、広い意味での平和研究	4. 村井吉敬「エビと日本人」刊行 8. アルカイダ組織される 11. 気候変動に関する政府間パネル設立 11. オランダでフェアトレード・ラベルがつくられる 1989.1 昭和天皇没 ☆ 国際連合平和維持軍	11.5 恵泉デー多摩フェスティバル 公開講座「タイ語で知るタイの文化と社会」望月賢一郎(短大主催) 11.5 恵泉デー多摩フェスティバル 個展「タイの人々と生活」望月賢一郎(短大主催)	石井摩耶子新任 大日向雅美新任(講義開始は1989年) 栗野鳳新任	212名 (160名)
		1989	平和学	栗野 鳳	(同上)	6. 天安門事件 11. ベルリンの壁崩壊 11. 国連人権委員会「子どもの権利条約」採択 12. マルタ会談(冷戦終結) 1990.1 韓国ハンギョレ新聞に「挺身隊」怨念の足跡」取材記掲載 ☆ グライ・ラマ14世	6.15 多目的アワー タイ障害児絵画展・講演会 佐竹庸子 11.4 恵泉デー多摩フェスティバル 公開講座「タイの少数民族の人々—その生活と文化—」望月賢一郎(短大主催)	4. 教職課程(国語・英語)を新設 4. 多目的アワー始まる 11. 日本平和学会1989年度秋季研究大会、恵泉女学園大学にて開催	199名 (160名)
		1990	平和学	栗野 鳳	(同上)	8. イラク、クウェート侵攻 1991.1 湾岸戦争始まる ☆ ミハイル・ゴルバチョフ	11.10 恵泉デー多摩フェスティバル 公開講座「タイ国の文化・宗教・言語に見る特徴」望月賢一郎(短大主催) 10.25 多目的アワー 「共に生きるこれからの世界」李仁夏(在日大韓基督教会川崎教会牧師)		227名 (160名)
尾崎安		1991	平和学	栗野 鳳	カント「永遠平和のために」を購入し、熟読することを推奨	8. 元慰安婦が名乗り出る 12. 元慰安婦、日本政府を相手に損害賠償訴訟を起こす —湾岸戦争で米軍が劣化ウラン弾を使用 ☆ アウン・サン・スー・チー	5.30 多目的アワー 礼拝「美しさと平和」斎藤和明(国際基督教大学教授) 6.13 多目的アワー 「子供の人権について」伊従直子(レリヌ・メルセス宣教女会長) 6.27 多目的アワー 「湾岸戦争後の中東パレスチナ問題」立山良司(中東経済研究所主任研究員)	1992.3 恵泉女学園大学第一回卒業式	228名 (160名)
		1992	平和研究入門	栗野 鳳 大日向雅美 内海愛子	テキスト：カント「永遠平和のために」(今までに個人が生み出した案として最も優れた「永久平和論」、国籍と戸籍、差別と人権、差別と偏見、女性の視点、平和を考える意義とその落とし穴、マイノリティ	6. リオデジャネイロで環境と地球に関する国連会議(地球サミット)開催、気候変動枠組条約採択 6. 国連平和維持活動等に対する協力に関する法律(PKO協力法案)成立および国際緊急援助隊派遣法改正 ☆ リゴベルタ・メンチュウ	10.15 多目的アワー 「今後の日中関係とアジアの将来」金連録 11.7 恵泉デー多摩フェスティバル「環境問題を考える—模擬アメリカ議会公聴会」原剛(毎日新聞論説委員・科学部長) (連見博昭ゼミ主催)	1993.3 栗野鳳退職 1992.10-1993.3 石井摩耶子研修(十九世紀後半の東アジアにおけるイギリス資本の活動) 1991年大学審議会は「大学教育の改善について」答申を行い、大学設置基準の大綱化と自己点検・評価システムの導入等を提言した。これを受けて、規制は大幅に緩和され(一般教育、専門教育、外国語、保健体育の科目区分の廃止等)、各大学による多様で特色あるカリキュラムの編成が可能となった。	223名 (200名)
荒井 献		1993	平和研究入門	内海愛子 宮治一雄 大橋正明 石井摩耶子(後期)	開発、差別と偏見、地域紛争、途上国、マイノリティ	8. 慰安婦関係調査結果発表に関する河野内閣官房長官談話 8. パレスチナ暫定自治協定(オスロ合意) 12. 国連総会で女性に対する暴力の撤廃に関する宣言採択 ☆ ネルソン・マンデラ、フレデリック・デクラーク	5.27 多目的アワー 「変わるベトナム」古田元夫(東京大学教授) 7.1 多目的アワー 「いのちの養われる世界に向けて小さな守りから大きな守りへ」安田治夫(牧師) 11.11 多目的アワー 「再読「きけわたつみのこえ」」尾崎安	大橋正明新任 宮治一雄新任 1993.4-9 石井摩耶子研修(十九世紀後半の東アジアにおけるイギリス資本の活動) 1993.9-1994.3 内海愛子研修(第二次世界大戦における日本の俘虜政策と戦争裁判)	223名 (200名)
		1994	平和研究入門	大橋正明(オムニバス形式) (荒井・石井・川島・篠原・連見・本間・宮治・学外からの講師ほか)	経済格差、国連、差別・偏見、被爆者と差別、部落差別、本学の教育理念のひとつ「国際理解と平和」について多角的に紹介、NGO、ODA、PKO(95年度シラバスに記載)	4. ルワンダ虐殺 4. 日本「子どもの権利条約」批准 6. 松本サリン事件 12. 原爆被爆者援護法制定 —パレスチナ自治開始 1995.1 阪神淡路大震災 1995.3 地下鉄サリン事件 ☆ ヤーセル・アラファート、イック・ラビン、シモン・ペレス	9.26 多目的アワー 「途上国への医療派遣医として」山田たか子 11.5 恵泉デー多摩フェスティバル 公開講座「雲南省のタイ民族文化について—西双版纳タイ族自治州を訪ねた経験にもとづき—」望月賢一郎 11.5 恵泉デー多摩フェスティバル特別企画「平和トーク いま、私はどこに？そして何を？」(平和学担当教員・学生有志共催)話題提供：内海愛子 学生：郭昭恵・金恵順・赤松結希・金力陽子・吉沢美穂 司会：大橋正明・田中紀子(学生) 討論者：石井摩耶子・篠原初枝・宮治一雄 11.5 恵泉デー多摩フェスティバル 裏面(ペン)氏写真展「戦後50年」(主催ビニシ) 11.10 多目的アワー 「私の中の日本、アジア、欧米」荒松雄	1994.4-1994.9 内海愛子研修(アジア太平洋戦争期における日本の俘虜政策と戦争裁判) 1995.1 恵泉女学園大学人文学会設立	222名 (200名)
		1995	平和研究入門	大橋正明(オムニバス形式) (石井・森山・内海・川島・宮治・荒井・学生・卒業生・学外からの講師ほか)	沖繩戦、ガザのろう学校、国連、差別、障害、太平洋戦争、部落、紛争、NGO、PKO(96年度シラバスに記載)	7. 女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)設置「償い事業」実施 8. 村山内閣総理大臣談話 12. 育児休業法改正、育児・介護休業法成立 —NATO軍、ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争で劣化ウラン弾使用 ☆ ジョセフ・ロートブラット、パグウォッシュ会議	6.2 多目的アワー 「(タイトル不明)高橋一(JOCSカンボジア派遣ボランティア事務所前代表) 11.5 恵泉デー多摩フェスティバル特別企画「平和トーク—私たちの戦争観」報告：赤松結希(学生) コメント：塩沢美代子・篠原初枝 司会：宮治一雄・徳江さやか(学生) (泉会・平和学担当教員有志共催) 11.11 第一回人文学会 シンポジウム「戦後50年と恵泉のあゆみ」中村妙子(翻訳家)・一色義子・松木信(教員)・徳江さやか(学生)司会：石井摩耶子	李省展新任(短大) 1995.4-1996.3 大日向雅美研修(北欧諸国及びアメリカにおける育児支援政策とその実効性) 6. 韓国 新羅大学と協定締結	241名 (200名)
		1996	平和研究入門	大橋正明(オムニバス形式) (石井・本間・李省展・内海・宮治・川島・森山(恵泉女学園高校)・学外からの講師ほか)	WW I、WW II、アジア、国連、PKO、南北問題、障害、食、阪神大震災、エイズ、沖繩戦、地域紛争(97年度シラバスに記載)	4. 普天間基地の移設条件付返還合意 4. 日米安全保障共同宣言 12. 「新しい歴史教科書をつくる会」発足 ☆ カルロス・ペロ、ジョゼ・ラモス=ホルタ	10.3 多目的アワー 「在日韓国人として生きる」金正美(学生) 10.17 多目的アワー 「性差別とキリスト教」荒井英子	10. 「恵泉アカデミア」創刊 1997.3 タイ チェンマイ大学と協定締結	244名 (200名)
川田 殖		1997	平和研究入門	大橋正明(オムニバス形式)	96年度と大体同様	5. アイヌ文化振興法制定 6. 男女雇用機会均等法改正 7. アジア通貨危機発生 12. 京都議定書採択 ☆ 地雷禁止国際キャンペーン、ジョディ・ウィリアムズ	5.29 平和文化研究所開所記念講演 「現場から見る民族紛争と平和」和田俊(ジャーナリスト) (平和文化研究所主催) 11.8 恵泉デー多摩フェスティバル「男女雇用機会均等法改正を考える」報告：佐々木栄(株)ディスコ調査課長・上田晶美(ハナマルキャリアコンサルタント)・村上奈美(卒)・大沼恵美子 司会：連見博昭・佐藤香織(学生) (平和文化研究所・学生有志共催)	小泉允雄新任 5. 平和文化研究所開所 5. 情報・園芸・研究棟起工式 6. アメリカ ノースウエスタン・カレッジと協定締結 12. 国際社会文化学科及び編入学定員等認可	236名 (200名)
		1998	平和研究入門	内海愛子(前期、後期)	アジア、アジア太平洋戦争下の子ども、外国人移民問題、核、ジェンダー、従軍慰安婦、戦争と平和、多文化社会、南北格差、人間の安全保障、紛争、平和を創る、民族問題、NGO	1999.1 欧州統一通貨「ユーロ」導入 ☆ ジョン・ヒューム、デヴィッド・トリンブル	5.16 開学十周年・国際社会文化学科開設記念式典記念講演 「国際平和をどう創るか—民族紛争・宗教対立の現実をふまえて—」明石康(広島市立大平和研究所所長)	古沢希代子新任 1998.9-1999.8 大橋正明研修(南アジアにおける農村及び社会開発とNGOの動向) ※1999.4-5 国際赤十字の一員としてアルバニアにおいてコソボ難民救援活動	601名 (500名)

学園長	学長	年度	講義名	担当教員	シラバスからキーワード (文言語はシラバス表記通り)	できごと	大学での平和関係プログラム	大学のできごと、 学科変遷、人事	大学入学人数 (〇は定員)
川田 植	1998	平和研究入門	石井摩耶子(前期、後期)	アジア、アジア太平洋戦争下の子ども、アフリカの飢饉、アラブ・イスラム紛争、核と人間、国際刑事裁判所、従軍慰安婦、女性への組織的暴力、戦争と日本人、占領、第三世界、地域紛争、パレスチナ問題、民族問題、ルワンダ虐殺、NGO、ODA	6. 男女共同参画社会基本法施行 8. 国旗及び国歌に関する法律制定 8. 東ティモールで国連主導住民投票実施 9. 東海村 JCO 臨界事故 12. 普天間基地の移転先を辺野古沖と閣議決定 一NATO軍、コソボ紛争で劣化ウラン弾使用 ☆ 国境なき医師団	11.7 恵泉デー多摩フェスティバル特別企画 平和トーク「ASIA NOW ～インドネシア経済危機と人々の生活」Part 1：座談会「インドネシア経済危機と人々の生活」 報告：Indonesia Concern(インドネシア人による緊急援助グループ)司会：宮治一雄 コメントーター：小泉充雄・古沢希代子・成毛美也子(学生)・Indonesia Concern メンバー・北川希(学生) 通訳：松野明久(大阪外語大助教授) (後援：人文学会)	5. 開学十周年記念式典・国際社会文化学科開設記念式典 5. J棟献堂式	601名 (500名)	
		平和研究入門	古沢希代子(前期、後期)						
		平和研究入門	小泉充雄(前期、後期)						
		平和研究入門(1)	宮治一雄(前期)						
		平和研究入門(2)	宮治一雄(後期)						
	1999	平和研究入門	内海愛子(前期、後期)						
		平和研究入門	宮治一雄(前期)						
		平和研究入門	大橋正明(後期)						
		平和研究入門	石井摩耶子(前期、後期)						
		平和研究入門	古沢希代子(前期、後期)						
2000	平和研究入門	小泉充雄(前期、後期)							
	平和研究入門	古沢希代子(前期、後期)							
	平和研究入門	大橋正明(後期)							
	平和研究入門	内海愛子(前期/後期)							
	平和研究入門	石井摩耶子(前期)							
2001	平和研究入門 a	古沢希代子(春学期)	環境、キリスト教平和論、近世・近代・現代の戦争、従軍慰安婦、女性への暴力、人権の世紀、先住民族、戦争がおこるメカニズム、戦争と弱者、マイノリティ、ルワンダ虐殺、20世紀の戦争と平和への取り組み	9. 第2次インテリファダが始まる ☆ 金大中	11.4-5 多摩フェスティバル 講演会「ストリートチルドレン」 11.4 多摩フェスティバル「ビルマの民主化運動について(仮)」	4. 長期FS始まる 10. 河井道メモリアルウィーク始まる 2001.3 キリスト教センター発足	517名 (481名)		
	平和研究入門 b	古沢希代子(秋学期)							
	平和研究入門 a	内海愛子(春学期)							
	平和研究入門 b	内海愛子(秋学期)							
	平和研究入門 a	上村英明(春学期)							
	平和研究入門 b	上村英明(秋学期)							
	平和研究入門 a	古沢希代子(春学期)							
	平和研究入門 b	古沢希代子(秋学期)							
	平和研究入門 a	李省展(春学期)							
	平和研究入門 b	李省展(秋学期)							
2002	平和研究入門 a	古沢希代子(春学期)	環境、キリスト教平和論、近世・近代・現代の戦争、従軍慰安婦、女性への暴力、人権の世紀、戦争がおこるメカニズム、戦争と弱者、マイノリティ、ルワンダ虐殺、20世紀の戦争と平和への取り組み	4. イスラエルによる武力攻撃激化 5. サッカーワールドカップ日韓共同開催 6. イスラエル、ヨルダン川西岸地区で分離壁の建設始まる ☆ ジミー・カーター	11.9 多摩フェスティバル 恵泉女学園大学・大学院国際シンポジウム「国際刑事裁判所の可能性と課題—紛争下の暴力を裁く国際期間の役割」パネリスト：クラウス・クレス(ドイツ・ケルン大上級研究員)・ヴァヒダ・ナイナル(インド・ニュー・デリー国立大で国際人道法を教える)・東澤靖(弁護士)・前田朗(東京造形大教授)・寺中誠(アムネスティ・インターナショナル日本事務局長)・内海愛子・古沢希代子・荒井献・石井摩耶子 司会：斎藤小百合・上村英明	4. 同窓会ホームカミングデーにおいて「恵泉女学園の高等教育の将来像 大学と園芸短期大学との統合について」と題しフォーラム開催	457名 (405名)		
	平和研究入門 b	古沢希代子(秋学期)							
	平和研究入門 a	李省展(春学期)							
	平和研究入門 b	李省展(秋学期)							
	平和研究入門 a	内海愛子(春学期)							
	平和研究入門 b	内海愛子(秋学期)							
	平和研究入門 a	上村英明(春学期)							
	平和研究入門 b	上村英明(秋学期)							
	平和研究入門 a	古沢希代子(春/秋学期)							
	平和研究入門 b	古沢希代子(秋/春学期)							
2003	平和研究入門 a・b	宮治一雄(春/秋学期)	先住民族、戦争の構造的な問題、紛争、地球環境、難民、日常の暴力、メディア・リテラシー、9.11テロとアフガニスタン戦争、20世紀が残した平和の課題	5. 個人情報の保護に関する法律制定 7. イラク人道支援特別措置法制定 11. 駐イラク外交官2人死亡 12. 自衛隊イラク派遣始まる —アジア各地で鳥インフルエンザ流行 —イラク戦争、米軍劣化ウラン弾使用 ☆ シーリーン・エバーディー	11.1 大学創立15周年記念公開講演「女性と平和は好きなのか」ノーマ・フィールド(シカゴ大学教授 東アジア言語文化学専攻) (15周年記念委員会主催) 11.7-8 大学院設立3周年記念国際シンポジウム「世界平和とキリスト教の功罪—過去と現在」基調講演：「『正義の戦争』の理論とカトリック教会の動向」ハンズ・ユージェン・マルクス(南山大学長) [支配する神：使える神]鈴木侖子(日本基督教協議会議長)「戦争における罪の意識をいかに継承するか」野田正彰(京都女子大教授) シンポジウム(多摩フェスティバル)：パネリスト：バーバラ・ブラウン・ジュークムンド(同志社大教授)・レスリー・E・パウソン(フィリピン大教授)・筑波大客員教授・李仁夏(在日大韓教会元老牧師)・荒井献及び基調講演者3名 モデレーター：進見博昭(主催：大学院 共催：大学人文学会・平和文化研究所)	2003.4-2003.9 内海愛子研修(太平洋戦争期における民間人抑留政策について) 2003.4-2004.3 李省展(アメリカ人宣教師と朝鮮の近代教育) 2003.10-2004.9 古沢希代子研修(東ティモールにおける国家予算のジェンダー論)	479名 (405名)		
	平和研究入門 a・b	上村英明(春/秋学期)							
	平和研究入門 a・b	金敬熙(春/秋学期)							
	平和研究入門 a	古沢希代子(春/秋学期)							
	平和研究入門 b	古沢希代子(秋/春学期)							
	平和研究入門 a	内海愛子(春/秋学期)							
	平和研究入門 b	内海愛子(秋/春学期)							
	平和研究入門 a	金敬熙(春/秋学期)							
	平和研究入門 a	内海愛子(春学期)							
	平和研究入門 b	内海愛子(秋学期)							
2004	平和研究入門 a	内海愛子(春学期)	環境とゴミ、グローバリゼーション、原爆から劣化ウラン弾へ、子ども・女性への暴力、人権の世紀、対テロ、難民、パナナとエビ、「不正」への憤りと闘い、武器貿易、紛争、100円ショップ	4. JR 福知山線脱線事故 8-9. ガザ地区からイスラエル軍と入植者が撤退、ガザ封鎖開始 2006.1 ハマス政権発足 ☆ 国際原子力機関、モハメド・エルバラダイ	10.30 多摩フェスティバル 大学院第4回国際シンポジウム「戦争と市民—アジアで続く武力紛争に対して私たちは何をすべきか」パネリスト：李鍾元(立教大学大学院教授)・ジャムハリ(イスラム大イイスラム社会研究センター所長)・チャンドリカ・セパチ・モテゴータ(スリランカ「女性とメディア共同体」共同代表他)・石井摩耶子 総合司会・コーディネーター：上村英明・大橋正明	2005.3 古沢希代子退職	440名 (405名)		
	平和研究入門 b	内海愛子(秋学期)							
	平和研究入門 a	堀芳枝(春学期)							
	平和研究入門 b	堀芳枝(秋学期)							
	平和研究入門 a	上村英明(春学期)							
	平和研究入門 b	上村英明(秋学期)							
	平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
	平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
2005	平和研究入門 a	内海愛子(春学期)	環境とゴミ、グローバリゼーション、原爆から劣化ウラン弾へ、食の安全、女性への暴力、人権の世紀、戦後補償、先住民族、対テロ、難民、パナナとエビ、貧困と開発、紛争、100円ショップ	6. 男女雇用機会均等法改正 7. 陸上自衛隊イラク撤退を完了 12. 教育基本法改正 2007.3 女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)解散 ☆ ムハマド・ユヌス、グラミン銀行	5.20 スプリングフェスティバル シンポジウム「終戦後の沖縄・八重山における人とモノの移動」(平和文化研究所主催) 11.4 多摩フェスティバル 大学院2006年度国際シンポジウム「アジアにおける多文化共生と平和のための市民社会の役割」シンポジスト：モヒッディン・アフマド(バングラデシュ)・アルバート・アレホ(フィリピン)・クンダ・ディクシット(ネパール)・マリア・ハルティニシ(インドネシア)・イ・シジェ(韓国)・澤井啓一・大橋正明(後援：国際文化会館&国際交流基金共催 アジア・リーダーシップ・フェロープログラム(ALFP))	高橋清貴新任 園芸短期大学廃止 人間社会学部新設 5. 第一回スプリングフェスティバル開催	462名 (410名)		
	平和研究入門 b	内海愛子(秋学期)							
	平和研究入門 a	堀芳枝(春学期)							
	平和研究入門 b	堀芳枝(秋学期)							
	平和研究入門 a	上村英明(春学期)							
	平和研究入門 b	上村英明(秋学期)							
	平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
	平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
2006	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	内海愛子(春学期)	新しい歴史教科書、エビ、在日朝鮮人、残留した朝鮮人、植民地支配、地雷撤去、朝鮮人台湾人戦犯、パナナ、野菜、靖国問題、歴史認識、劣化ウラン弾	6. 米下院で従軍慰安婦問題の対日謝罪要求決議 7. サブプライムローン問題による世界金融不安拡大 2008.1 新テロ対策特別措置法成立 2008.3 海上自衛隊がインド洋上での給油活動再開 ☆ 気候変動に関する政府間パネル、アル・ゴア	11.11 多摩フェスティバル 恵泉女学園大学特色 GP 体験学習国際シンポジウム「海外体験学習における受入側のインパクト」長期FS受入側報告：ドゥシット・ドゥアンサー(タイチェンマイ大長期FS責任者)・スマリットワラット(タイ 元小学校教員) 短期FS受入側報告：アプー・パセッド(バングラデシュ) 短期FSの現地 NGO PAPRI 専務理事、白石文子(ドイツ ノルトライン・ヴェストファーレン州言語研究所) パネルディスカッション・質疑応答コーディネーター：和栗百恵(早稲田大学山部夫記念ボランティアセンター特任講師) (人間社会学部体験学習 CSL・FS 委員会主催)	2007.3 内海愛子退職 2006.9-2007.3 大日向雅美研修(地域の育児力向上—人材養成とネットワーク形成について—)	436名 (410名)		
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	内海愛子(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	堀芳枝(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	堀芳枝(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	上村英明(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	上村英明(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
2007	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	李泳采(春学期)	アジアのくらし、アフリカ、エイズ、格差、核兵器、環境、子ども、青少年少女兵、女性、「世界がもし100人の村だったら」、戦争の傷跡、中国残留孤児、フィリピン、フェアトレード、歴史教科書、歴史認識、100円ショップ	6. 米下院で従軍慰安婦問題の対日謝罪要求決議 7. サブプライムローン問題による世界金融不安拡大 2008.1 新テロ対策特別措置法成立 2008.3 海上自衛隊がインド洋上での給油活動再開 ☆ 気候変動に関する政府間パネル、アル・ゴア	11.11 多摩フェスティバル 恵泉女学園大学特色 GP 体験学習国際シンポジウム「海外体験学習における受入側のインパクト」長期FS受入側報告：ドゥシット・ドゥアンサー(タイチェンマイ大長期FS責任者)・スマリットワラット(タイ 元小学校教員) 短期FS受入側報告：アプー・パセッド(バングラデシュ) 短期FSの現地 NGO PAPRI 専務理事、白石文子(ドイツ ノルトライン・ヴェストファーレン州言語研究所) パネルディスカッション・質疑応答コーディネーター：和栗百恵(早稲田大学山部夫記念ボランティアセンター特任講師) (人間社会学部体験学習 CSL・FS 委員会主催)	2007.3 内海愛子退職 2006.9-2007.3 大日向雅美研修(地域の育児力向上—人材養成とネットワーク形成について—)	436名 (410名)		
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	内海愛子(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	堀芳枝(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	堀芳枝(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	上村英明(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	上村英明(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
	平和研究入門 I / 平和研究入門 a	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 II / 平和研究入門 b	高橋清貴(秋学期)							
2008	平和研究入門 I	堀芳枝(春学期)	エイズ、感染症、憲法9条、公害、青少年少女兵、消費者、女性への暴力、生活者、「世界がもし100人の村だったら」、戦争の傷跡、中国残留孤児、フィリピン、フェアトレード、歴史教科書、歴史認識、100円ショップ	12. イスラエル軍による大規模軍事侵襲 2009.1 バラク・オバマ第44代アメリカ合衆国大統領に就任 ☆ マルティン・アハティサーリ	11.6 多目的アワー 2008年グローバルな目を研ぎ澄ます第1回「TIC AD、G8の年にアフリカを考える：西アフリカで開いた人びとの声、見たイニシアティブ—セネガルを中心に—」楠田千代(アフリカ日本協議会(NGO)理事) (平和文化研究所主催) 11.8 多摩フェスティバル 2008年度大学院人間社会学部研究科主催国際シンポジウム「アジアにおける民主化と宗教 Religions and Democratizations in Asia」議題提供：「韓国における宗教と民主化」曹喜松(韓国聖公会大教授)「リベラル・ムスリムと民主化」A・ソフール(AMAN事務局長)「タイにおける女性と市民活動」D.ウサ(タイ・チェンマイ大博士) 討論：「『宗教間対話』への異なるパースペクティブ」川島聖二「複数の文脈に置かれるアジアの『女性』」浜田空(院卒) 総括：大橋正明 総合司会：高橋清貴 11.27 多目的アワー 2008年グローバルな目を研ぎ澄ます第2回「アメリカ合衆国大統領選挙をアジアはどう評価するか?」シンポジスト：進見博昭・楊志輝・李泳采 司会：上村英明 (平和文化研究所主催) 12.11 多目的アワー 2008年グローバルな目を研ぎ澄ます第3回「外国人の権利は他人事だろうか? 『世界人権60周年』の年に考えること」金迅野(川崎ふれあい館職員) (平和文化研究所主催) 2009.1.8 多目的アワー 2008年グローバルな目を研ぎ澄ます第4回「2010年『生物多様性条約』締約国会議(COP10)への取り組みについて」道家哲平(財団法人日本自然保護協会保全研究部国際担当) (平和文化研究所主催) 2009.1.15 多目的アワー 2008年グローバルな目を研ぎ澄ます第5回「戦後補償と平和学」内海愛子 (平和文化研究所主催)	5. 『恵泉女学園大学20周年記念誌』発行	444名 (410名)		
	平和研究入門 I	高橋清貴(春学期)							
	平和研究入門 I	上村英明(春学期)							
	平和研究入門 I	李泳采(春学期)							
	平和研究入門 I	楊志輝(春学期)							
	平和研究入門 II	堀芳枝(秋学期)							
	平和研究入門 II	高橋清貴(秋学期)							
	平和研究入門 II	李泳采(秋学期)							
	平和研究入門 II	楊志輝(秋学期)							
	平和研究入門 II	楊志輝(秋学期)							
2009	平和研究入門 I	堀芳枝(春学期)	エイズ、感染症、憲法9条、公害、青少年少女兵、消費者、女性への暴力、生活者、「世界がもし100人の村だったら」、戦争の傷跡、中国残留孤児、フィリピン、フェアトレード、歴史教科書、歴史認識、100円ショップ	5. 裁判員制度始まる ☆ バラク・オバマ	6.14 多目的アワー 09年度グローバルな目を研ぎ澄ます第1回「李明博政権と韓国の民主化と人権」韓洪九(韓国聖公会大教授・平和博物館建立推進委員長) 通訳：李泳采 司会：上村英明(平和文化研究所主催) 5.30-31 スプリングフェスティバル チャリティ展示会「東ちづる 戦争とドイツ平和村の子どもたち—絵本『マリオンとバルーシャ』展」 11.7-8 多摩フェスティバル 展示会「初めて学ぶ『慰安婦』問題」(アクティブミュージアム 女たちの戦争と平和資料館の特別展示の引越し展示会) 同時映画開催「オレの心は負けてない」(11.7)解説：李泳采 11.13 環境セミナー「メラニー・マレンさん来日講演会」(人間環境学科主催)	2010.3 石井摩耶子退職 大学院、人間社会学部研究科を平和学研究科へ名称変更 2009.9-2010.3 大橋正明研修(バングラデシュの開発 NGO の現状と問題点他)	459名 (410名)		
	平和研究入門 I	堀芳枝(春学期)							

学 園 長	学 長	年度	講義名	担当教員	シラバスからキーワード (文言語はシラバス表記通り)	できごと	大学での平和関係プログラム	大学のできごと、 学級変遷、人事	大学入学者数 ( )は定員
木 村 利 人	2009	平和研究入門Ⅱ	堀芳枝(秋学期)				2010.1.13 09年度グローバルな目を研ぎ澄ます第2回講演会「貧困と飢餓の現在を考えるーアフリカの光と影ー」林達雄(アフリカ日本協議会代表理事)(平和文化研究所主催)		459名 (410名)
		平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)						
		平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)						
		平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)						
		平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)						
		平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)						
		平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)						
	平和研究入門Ⅰ	上村正明(春学期)							
	2010	平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)	エイズ、環境、感染症、憲法9条、食の安全、人権の世紀、「世界がもし〜」、戦後補償、対テロ、東京裁判、靖国問題、劣化ウラン弾	5. 普天間基地の移転先として、県外を断念し辺野古沖で日米合意 8. 広島平和記念式典にアメリカの代表が初めて出席 2011.3 東日本大震災発生、福島第1原発事故発生 原子力緊急事態宣言発令、同日中に半径3km以内に避難指示、翌日以降拡大 2011.3 福島第1原発事故を受け、政府が食品の出荷制限を指示 2011.3 シリア内戦激化 ☆ 劉曉波	4.28 グローバルな目を研ぎ澄ませよう 共通テーマ：現代「植民地主義」を再考するー土地・水・環境第1回「ミクロナシア・統治と核を超えて」豊崎博光(核ジャーナリスト)(平和文化研究所主催) 5.29 スプリングフェスティバル チャリティ展示会「東ちづる 戦争とドイツ平和村の子どもたちー絵本「マリヤンナとバルーシャ」展 part 2」 5.29 スプリングフェスティバル グローバルな目を研ぎ澄ませよう 共通テーマ：現代に「植民地主義」を再考するー土地・水・環境第2回 国際シンポジウム「韓国併合100年&光州民主化運動30周年を考えるーアジア・韓国、そして恵泉女学圏」パネリスト：内海愛子・金東椿・石井摩耶子 司会：上村正明(平和文化研究所主催) 10.23 グローバルな目を研ぎ澄ませよう 共通テーマ：現代に「植民地主義」を再考するー土地・水・環境第3回 創作劇「ビンタン・プサル」(劇論◎三者会談)(平和文化研究所主催) 11.6 多摩フェスティバル 2010年度大学院主催国際シンポジウム「自然と人間の共生・環境権と人権の関係を考えるー『名古屋』に行かなかった人たちのCOP10」パネリスト：鬼頭秀一(東大大学院教授)・道家哲平(国際自然保護連合日本委員会国際担当)・上村正明 コメンテーター：篠田真理子・松村正治(平和文化研究所共催)	2010.4-2011.3 堀芳枝研修(フィリピン農村社会の変容とジェンダー) 6. 中国 上海杉達学院と協定締結	482名 (410名)	
		平和研究入門Ⅰ	上村正明(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	堀芳枝(春学期)						
		平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)						
		平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)						
	平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)							
	2011	平和研究入門Ⅰ	上村正明(春学期)	観光と開発、恵泉の「平和」、情報公開と知る権利、昭和の日、食の安全、生物多様性、対テロ、地球温暖化、東洋の平和、日本のフィリピン領、フェアトレード、「平和」の胡散臭さ、ECO、「100人の村」の問題点	4. 福島第1原発20キロ圏外で年間20mSVを超える地域を「計画的避難区域」に設定 6. 福島県で県民健康調査開始 9. 福島県、一部地域で避難指示解除 12. ソウルの日本大使館前に「慰安婦像」設置 12. 政府は福島第1原発事故を受け、帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域を設定 2012.2 復興庁を設置 ☆ エレン・サーリーフ、レイマ・ボウイ、タワックル・カルマン	5.28 スプリングフェスティバル 平和文化研究所主催国際シンポジウム(グローバルな目を研ぎ澄ます2011年度テーマ：改革の年2012に向けて)「2012年東アジアの新たな平和をどう構築するかー核とエネルギー問題を中心にー」パネリスト：「朝鮮半島の危機と平和秩序構築」韓洪九(韓国聖公会大学教授)「北朝鮮の権力継承と冷戦構造の解体」和田春樹(東大名誉教授)「中国の経済成長と東アジアの未来」莫邦富(作家・ジャーナリスト) コメンテーター：村井吉歌(早大客員教授)「東南アジアの視点から」・上村正明「日本の視点から」 司会：内海愛子 5.29 スプリングフェスティバル トークセッション「福島を想う」プロジェクト at 恵泉 ゲストスピーカー：金沢てる(三春・農業・前県 JA 女性協議会代表)・菅野正寿(NPO法人ふるさとづくり協議会理事)・西沢恵美子(日刊ベリタ記者)・福島県有機農業ネットワーク会員 他コーディネーター：澤登早苗(恵泉女学圏大学主催、特定非営利活動法人・日本国際ボランティアセンター・特定非営利活動法人 APLA・日本有機農業学会共催) 6.9 多目的アワー グローバルな目を研ぎ澄ませよう2011年度テーマ：改革の年2012に向けて第2回「リオ+20：地球規模の課題と市民活動」講演：星野智子(一般社団法人環境パートナーシップ会議代表理事) 司会：上村正明 コメント：篠田真理子 11.6 恵泉祭 大学院シンポジウム「3・11以後の社会と私たち」基調講演：「異教の神のバネヒゲー宗教から原発を考えるー」玄佑宗久(福聚寺住職) 討論：開沼博(社会学者・東大大学院情報学府博士課程)・大澤信光(文芸評論家) 司会：総括：武田徹(大学院人文科学研究科主催) 11.6 恵泉祭 鎌仲ひとみ監督トークショー「福島第一原発事故を振り返る。そして今私たちは何をすべきか。」(KARA <恵泉*原子力を考える会>主催、平和文化研究所後援)	多摩フェスティバルを恵泉祭へ名称変更 2011.4-2012.3 李省展研修(アメリカ人宣教師と韓国のミッションスクールに関する史的探究)	366名 (410名)	
		平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	堀芳枝(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)						
		平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)						
		平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)						
	平和研究入門Ⅱ	堀芳枝(秋学期)							
	平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)							
	2012	平和研究入門Ⅰ	上村正明(春学期)	沖縄、情報公開と知る権利、食の安全、生物多様性、戦後補償、対テロ、日本とフィリピン、武器貿易、水と環境、靖国問題	4. 金正恩が北朝鮮の最高指導者となる。以降核実験、ミサイル発射が相次ぐ。 10. 米軍、沖縄にオスプレイ配備 11. 国連、パレスチナをオブザーバー国家として承認 12. イスラエル軍によるガザ侵襲 2013.1 アルジェリア人質事件で日韓関係者10人死亡 ☆ 欧州連合	5.26 スプリングフェスティバル 講演会「越境する言葉と文化」今、再び慰安婦問題を考える」朴裕河(韓国世宗大学教授) 5.26 スプリングフェスティバル 「折り紙〜フクシマからのメッセージとハンドベルの調べ〜」津放射能情報センター活動報告」片岡輝美(会津放射能センター・放射能から子供の命を守る会・会津代表) 6.17 グローバルな目を研ぎ澄ませよう2012東アジアコース新設記念 共通テーマ：東アジアで生きる第1回「K-POPで考える日韓文化交流」古家正亨(K-POP評論家・ラジオDJ)テレビVJ) (平和文化研究所主催) 7.12 多目的アワー グローバルな目を研ぎ澄ませよう2013東アジアコース新設記念 共通テーマ：東アジアで生きる第2回「ソウルから東アジアを考える」李省展(平和文化研究所主催) 10.11 多目的アワー グローバルな目を研ぎ澄ませよう2013東アジアコース新設記念 共通テーマ：東アジアで生きる第3回「東アジアの中の中国を語ろう：その歴史から現在まで」楊志輝・田中靖彦(平和文化研究所主催) 10.27 歴史文化学系設立記念シンポジウム「東アジアキリスト教交流の未来への展望」パネリスト：徐正敏(明治学院大学客員教授)・渡辺祐子(明治学院大学教授)・一色哲(甲子園大学准教授) コメンテーター：原誠(同志社大学教授) 司会：李省展・笹尾典代 11.10 恵泉祭 グローバルな目を研ぎ澄ませよう2013年東アジアコース新設記念 共通テーマ：東アジアで生きる第4回 大学院国際シンポジウム「東アジアの市民と自治体ー地域が社会を変える」パネリスト：保坂展人(世田谷区長)・車聖秀(ソウル市松川区長) コメンテーター：阿部裕行(多摩市長)・班忠義(中国映像作家・評論家)・澤登早苗 司会：大橋正明 進行：上村正明(大学院平和学専攻科主催、平和文化研究所共催)	河井道モリアルウィークをK-weekへ名称変更 11. 韓国 梨花女子大学と協定締結 2013.2 韓国 韓信大学と協定締結 2013.3 草花検定始まる	349名 (410名)	
		平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	堀芳枝(春学期)						
		平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)						
		平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)						
		平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)						
	平和研究入門Ⅱ	堀芳枝(秋学期)							
	平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)							
	2013	平和研究入門Ⅰ	上村正明(春学期)	アジアの観光と開発、環境、情報公開と知る権利、昭和の日、食の安全、生物多様性、「世界がもし〜」、戦後補償、対テロ、バナナと砂糖のフェアトレード	11. タイで大規模な反政府デモ 12. 仲井真弘多沖縄県知事が辺野古沖移転に関し政府の埋め立て申請を承認 2014.3 台湾ひまわり学生運動 ☆ 化学兵器禁止機関	5.25 スプリングフェスティバル 開学25周年記念大学院国際交流シンポジウム「激動の東アジアと大学の役割ー韓国の大学生、市民社会、そして歴史認識ー」基調講演：キリスト教の理念と大学の新たな役割 李定九(聖公会大学総長)・川島堅二 パネリスト：「韓国の女性と家族」張和卿(聖公会大学教授)・「日本の女性と宗教」梅澤ふみ子・「韓国の生協と大学」朴サンソン(聖公会大学教授)・「日本の大学生と歴史認識」聖公会大・恵泉大学生 閉会挨拶：上村正明 司会：大橋正明(スプリングフェスティバル実行委員会主催、大学院平和研究科・大学院国際交流委員会後援) 5.25 スプリングフェスティバル 写真展「2014年度人間環境学科」現代社会学科「改称への記念特別展示 『韓国併合130年特別展 巨大な監獄、植民地朝鮮に生きる』(平和文化研究所主催、韓国・民族問題研究所(制作)・立命館大学コリアン研究センター(翻訳)・高麗博物館(所蔵)後援) 6.4 特別講演1:「植民地朝鮮に生きるとは」李素玲(高麗博物館理事) 6.11 特別講演2:「日本の戦争に動員された朝鮮ー1930、40年代の映画を中心にー」内海愛子 11.9 恵泉祭 トークショー「シャプラニール流・人生が変わる働き方」NGO シャプラニール 藤岡みなみ(タレント)・福井崇人(電通ソーシャル・デザイン・エンジン代表)・渋谷敦志(フォトジャーナリスト)ほか 11.10 恵泉祭 恵泉女学圏現代社会学科改称記念シンポジウム「ポスト311のメディアと社会」講演：森達也(ドキュメンタリー映画監督・作家)・津田大介(ジャーナリスト・メディアアクティビスト) コーディネーター：武田徹 2014.1.15 「なぜ今、アーカイブズ学なのか その基本理念と平和学としての取り組み」講師：安藤正人(学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻教授) 主催：恵泉女学圏大学平和文化研究所 2014.2.11 グローバルな目を研ぎ澄ませよう 2013年東アジアコース新設記念 共通テーマ：東アジアで生きる「恵泉・多摩キャンパスに響く被爆ピアノ 崔善愛ピアノコンサート&トーク」演奏：崔善愛(在日三世ピアニスト)トーク：崔善愛・篠崎美生子 司会：上村正明	2013.4 「学生のためのピース・ノート」刊行	466名 (410名)	
		平和研究入門Ⅰ	堀芳枝(春学期)						
平和研究入門Ⅰ		楊志輝(春学期)							
平和研究入門Ⅰ		高橋清貴(春学期)							
平和研究入門Ⅰ		李泳采(春学期)							
平和研究入門Ⅱ		上村正明(秋学期)							
平和研究入門Ⅱ		堀芳枝(秋学期)							
平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)								
平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)								
平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)								
2014	平和研究入門Ⅰ	堀芳枝(春学期)	開発、憲法9条、情報公開と知る権利、昭和の日、スリランカ、生物多様性、戦後補償、日本とフィリピン、バナナと砂糖のフェアトレード、東ティモール	4. 消費税8%に増税 7. イスラエル軍によるガザ侵襲 9. 香港雨傘革命 2015.1-2 ISILによる日本人2名殺害事件 ☆ カイラシユ・サティアーアデー、マララ・ユスフザイ	5.28-6.4 平和文化研究所 平和アーカイブズ準備企画 忘れられた青年たちー韓国・朝鮮人BC級戦犯者問題(写真展) 5.31 スプリングフェスティバル 「原発に頼らない社会へシフトできるのか?」田中優(環境活動家)(現代社会学専攻科主催) 6.18 特別講演「韓国・朝鮮人BC級戦犯者問題をどう理解するか」内海愛子 11.8 恵泉祭 国際シンポジウム「東アジア大学のネットワークと平和教育」基調講演：「東アジアの平和共同体と教育の役割」曹喜忠(ソウル市教育監) 第1部：「東アジアのネットワーク強化のために」顧鼎銘(台湾世新大学前学長)・金東椿(聖公会大学民主主義研究所長) 第2部：「東アジアに生きる女性と平和教育」大日向雅美・夏曉鵬(台湾世新大学社会発展研究所長)・許聖允(韓国聖公会大学 NGO 大学院実践女性学教授) 11.8 恵泉祭 花と平和のミュージアム企画「92歳、反骨の報道写真家」福島菊次郎写真展 11.9 恵泉祭 ドキュメンタリー上映「天安艦プロジェクト」解説：李泳采 監督トーク：ベク・スン・ウ(平和文化研究所主催、立命館大学コリア研究センター・北海道大学院メディア・コミュニケーション研究院共催)	2014.4-2014.9 上村正明研修(先住民の保健問題と政策的対応ーアイヌ民族とオーストラリア・アボリジニの比較からー) 6. インドネシア ガジャマダ大学と協定締結 11. 花と平和のミュージアム開館	346名 (410名)		
	平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)							

学園長	学長	年度	講義名	担当教員	シラバスからキーワード (文言語はシラバス表記通り)	できごと	大学での平和関係プログラム	大学のできごと、 学科変遷、人事	大学入学人数 ( )は定員			
松下俱子	川島堅一	2014	平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)	憲法9条、情報公開と知る権利、昭和の日、生物多様性、戦後補償、日本とフィリピン、福島原発事故、靖国問題	9. 安全保障関連法成立 12. 慰安婦問題日韓合意 12. バリ協定(気候変動枠組条約)採択 —米軍、対IS 戦で劣化ウラン弾使用 —辺野古沖移転をめぐる沖縄県と国が法廷闘争 ☆ チュニジア国民対話カルテット	2015. 3.21 日本平和学会関東地区研究会& 恵泉女学園大学平和文化研究所・花と平和のミュージアム共同企画「小さな民」からODAの軍事化を考える」基調講演：「村井吉敬の『歩くアジア学』が意味するもの」中村尚司(龍谷大研究フェロー) 報告者：「水際立つ日本のODA：対フィリピンODAは渡りに船か」長瀬理英(メコンウォッチ理事・元開発コンサルタント)「65年日韓国交正常化と経済協力方式への道」矢野秀喜(強制連行・企業責任追及裁判全国ネットワーク事務局長)「積極的平和主義がもたらすODAの軍事化とは」高橋清貴 「戦争賠償からODA 大國へ」内海愛子 討論：大江正章(コモンズ代表) 中村尚司(慶大法科大学院アジア太平洋研究)(日本平和学会関東地区研究会主催 恵泉女学園大学平和文化研究所、花と平和のミュージアム後援)	4. 中国 外交学院と協定締結 4. 『学生のためのピース・ノート2』刊行 9. イギリス チェスターカレッジと協定締結	346名 (410名)			
			平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)								
			平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)								
			平和研究入門Ⅱ	上村英明(秋学期)								
			平和研究入門Ⅱ	堀芳枝(秋学期)								
			平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)								
			平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)								
	2015	平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)									
		平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)									
		平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)									
		平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)									
		平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)									
		平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)									
		平和研究入門Ⅱ	上村英明(秋学期)									
中山洋司	大日向雅美	2016	平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)	安保法制、構造的暴力・文化的暴力、市民活動、情報公開、対テロ、デモ、日本とフィリピン、ヘイトスピーチ、平和教育・平和学習、靖国問題、9条	5. バラク・オバマが現職アメリカ大統領として初めて広島市訪問 6. ヘイトスピーチ解消法施行 6. イギリス、EU離脱是非を問う国民投票で離脱決定 7. 相模原障害者施設殺傷事件 8. 天皇、生前退位に関しビデオメッセージ公表 2017.1 男女雇用機会均等法改正 2017.1 ドナルド・トランプ第45代アメリカ合衆国大統領就任 ☆ フアン・マヌエル・サントス	5.28 スプリングフェスティバル 平和文化研究所スプリングフェスティバル特別企画「原朗先生と学ぶ 教科書で教えていない日清・日露戦争の時代と『今』東アジアにおける戦争と平和」原朗(東大名誉教授)×石井摩耶子 11.6 恵泉祭 東アジアドキュメンタリー映画上映会「私の非情な家」[東アジアのフィールドを歩く一女子大生からみた沖縄・濟州島・台湾]解説：李泳采 特別ゲスト：伊藤みどり(働く女性の全国センター副代表)(平和文化研究所主催 恵泉女学園大学体験学習(FS・CSL)委員会後援)	2017.3 大橋正明退職 2017.3 堀芳枝退職 10. 台湾 世新大学と協定締結 11. 中国 延辺大学と協定締結	188名 (410名)			
			平和研究入門Ⅰ	堀芳枝(春学期)								
			平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)								
			平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)								
			平和研究入門Ⅱ	上村英明(秋学期)								
			平和研究入門Ⅱ	堀芳枝(秋学期)								
			平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)								
	2017	平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)	環境、構造的暴力・文化的暴力、市民活動、スリランカ、戦後補償、東ティモール、ヘイトスピーチ、靖国問題					7. 核兵器禁止条約採択 9. ミャンマーを逃れるロヒンギャ難民が50万人を突破 10. イラク政府がIS 制圧を宣言 12. 米政府「イスラエルの首都はエルサレム」と公式発表 ☆ 核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)	5.27 スプリングフェスティバル 講演会「放射能汚染 いま起きていること」吉田由布子(3.11甲状腺がん子ども基金理事)×大越良二(NPO法人ファーム庄野副理事長) 5.27 スプリングフェスティバル 鉄の造形 武田美通全作品展・講演「戦死者たちからのメッセージ」講演会：杉田明宏 映画上映会「戦ふ兵隊」(花と平和のミュージアム特別企画) 11.4-5 恵泉祭「福島を想うプロジェクト at 恵泉」(展示・販売)	4. フィリピン サンアグスティン大学と協定締結 4. アイルランド ダブリンシティ大学と協定締結 10-11. 国際 NGO「ICAN」(国際運営委員：川崎哲)のノーベル平和賞受賞をうけ、「ノーベル平和賞受賞式への被爆者の参加を応援するキャンペーン」募金活動実施(550万円あまりを集める)	148名 (290名)
		平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)									
		平和研究入門Ⅰ	上村英明(春学期)									
		平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)									
		平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)									
		平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)									
		平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)									
2018	平和研究入門Ⅰ	楊志輝(春学期)	慰安婦、環境、植民地支配、戦後補償、福島原発事故、ヘイトスピーチ、靖国		4. 存在しないとされていた陸上自衛隊のイラク派遣部隊の日報が発見される 4. アメリカ ビューリッツァー賞 公益部門に「# Me Too」を言葉にしたセクハラ被害報道が選ばれる 4. 韓国の文在寅大統領と北朝鮮の金正恩朝鮮労働委員長が板門店で南北首脳会談 6. 米朝首脳、史上初の会談 6.7. オウム真理教事件死刑囚13人死刑執行 8. 翁長雄志沖縄県知事没(2018年8月作成時点)	5.26 スプリングフェスティバル展示 武田美通 鉄の造形作品展「戦死者たちからのメッセージ」(花と平和のミュージアム企画) 5.22-6.1 豊田直巳写真展「叫びと囁き」フクシマの7年間〜尊厳の記録と記憶(花と平和のミュージアム主催 平和文化研究所共催) 5.26 スプリングフェスティバル「福島菊次郎とは誰だったのか〜記録編〜」(花と平和のミュージアム企画) 5.26 スプリングフェスティバル 映画上映「遺言―原発さえなければ」監督トーク：豊田直巳/野田雅也(花と平和のミュージアム企画)	大橋正明大学院授業担当 堀芳枝学部授業担当	255名 (290名)				
	平和研究入門Ⅰ	李泳采(春学期)										
	平和研究入門Ⅰ	高橋清貴(春学期)										
	平和研究入門Ⅰ	上村英明(春学期)										
	平和研究入門Ⅱ	楊志輝(秋学期)										
	平和研究入門Ⅱ	李泳采(秋学期)										
	平和研究入門Ⅱ	高橋清貴(秋学期)										
平和研究入門Ⅱ	上村英明(秋学期)											

(年表作成 大町麻衣 安藤和子 森恵 西尾尚子)

## 「平和研究入門」担当教員一覧表

教員名	平和研究入門(平和学)担当年度	在職期間 (非常勤含む)	専門分野・テーマ
栗野鳳	1988-1992年度	1988-1992年度	平和学・国際関係論(外交官、広島平和研究センター)
大日向雅美	1992年度	1988-現在	心理学、女性学
内海愛子	1992-1993年度 1998-2002年度 2004-2006年度	1987(短大)-2006年度	社会学、日本-アジア関係史、戦後補償論、インドネシア
宮治一雄	1993年度 1998-2000年度 2003年度	1993-2004年5月	国際関係論、中東研究
大橋正明	1993-1997年度 1999-2000年度	1993-2016年度 2018-	国際開発学、NGO・NPO論、南アジア
石井摩耶子	1993年度 1998-2000年度	1988-2009年度	国際関係論・国際関係史
古沢希代子	1998-2002年度 2004年度	1998-2004年度	国際人権論、ジェンダーと開発、開発と国際協力
小泉允雄	1998-1999年度	1997-2001年5月	東南アジア地域研究
上村英明	2001-2003年度 2005-2018年度	2001-現在	国際機構論、先住民民族論、NGO論(市民外交センター)
イ・ソンジョン 李省展	2001-2002年度	1995(短大)-現在	朝鮮半島を基軸とした東アジア近代史、国際関係論(東アジア)
キム・ギョンムク 金敬然	2003-2004年度	2003-2004年度	国際関係論
堀芳枝	2005-2009年度 2011-2016年度	2001-2016年度 2018-	東南アジア地域研究(フィリピン)、国際関係論
高橋清貴	2005-2018年度	2005-現在	平和構築論、国際ボランティア論
イ・ヨンチェ 李泳采	2007-2018年度	2007-現在	東アジア国際関係、日韓・日朝関係、戦後補償、平和学
ヤン・ヅフィ 楊志輝	2008-2018年度	2007.10-現在	国際政治、日中外交史

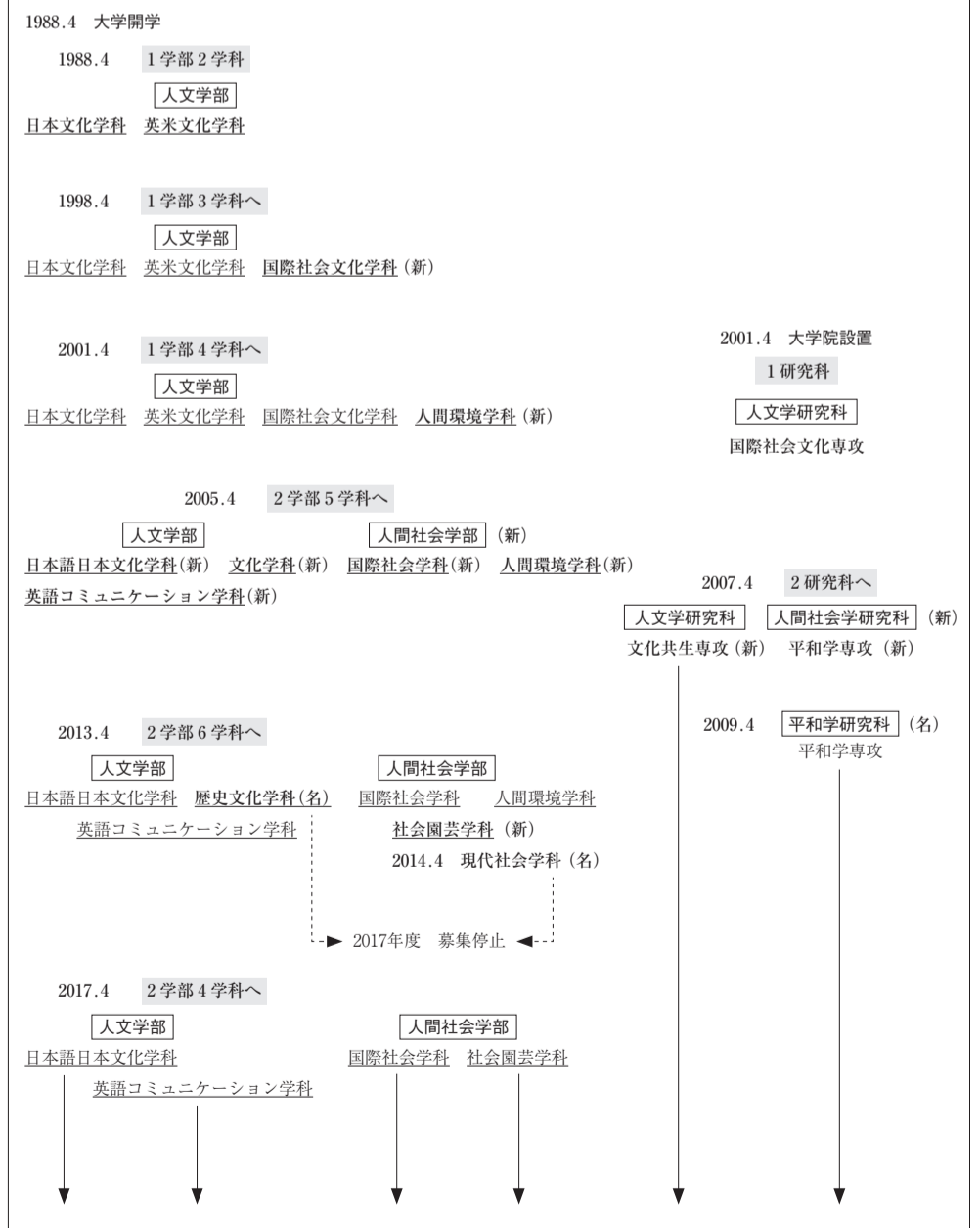
(作成 大町麻衣)

参考資料：『恵泉女学園五十年の歩み』(1979.11.3恵泉女学園)／『恵泉の教育 継承と展開』(2003.3.25恵泉女学園)／『恵泉女学園短期大学誌—日本の女子高等教育への挑戦50年—』(2009.11.2恵泉女学園)／『恵泉』1979-2018年度 318-520号／『学校法人恵泉女学園 法人役員・評議員・教職員名簿』／『学生要覧』(1988-2000年度 恵泉女学園大学)／『シラバス』(2001-2004年度 2016-2017年度 恵泉女学園大学)／『履修の手引』(2001-2004年度 恵泉女学園大学)／『学生生活ハンドブック』(2005-2017年度 恵泉女学園大学)／『学生のためのピース・ノート』(2013.4.10お茶の水書房)／『学生のためのピース・ノート2』(2015.4.25コモンズ)／『平和をめざす女性の大学 河井道先生に学ぶ』木村利人(2013.5.11さんこう社)／大学・短期大学案内 1981-2018年度/恵泉祭(多摩フェスティバル)プログラム 1988-2017年/スプリングフェスティバルプログラム 2005-2018年/恵泉女学園「花と平和のミュージアム」ニュースレター 1-4号 2015-2017年度/シンポジウム・講演・多目的アワー等ちらし/大学HP/「日記 園芸生活科 No.15」(資料番号D1-221)／「中長期計画審議会最終答申」(受入番号4408)／「英文科教授会記録 1980.10.2-1981.3.17」(受入番号5082)／『学生便覧』1982-1985年度(受入番号5089)／総合科目「国際」(受入番号5150)／「短大園芸科教授会記録 1980年度」(受入番号7022)／「短大園芸科教授会記録 1981年度」(受入番号7023)／1981年度学科長・副校長会資料(受入番号7027)／「1980年度教授会記録」(受入番号7122-5)／「園芸科1981年度教授会記録」(受入番号7122-6)／「園芸科1982年度教授会議事録」(受入番号7122-7)／「大学開学前の秋田私案メモ」(受入番号8225)／「新キャンパス委員会・教育計画委員会 1984.11-I 秋田」(受入番号

8226)／「新キャンパス委員会・教育計画委員会 1985.4-II」(受入番号8227)／「新キャンパス委員会・教育計画委員会記録」(受入番号8228)／「新キャンパス委員会・教育計画委員会関係」(受入番号8229)／「大学創設準備委員会」(受入番号8230)／「大学創設準備委員会」(受入番号8234)／「授業『国際』」(受入番号8314)／「入学志願動向(1989年度-)」(恵泉女学園大学作成)／「学則変更」ファイル／「日本における1990年代の大学改革」(黒羽亮一、[学位研究] 3号1995年6月)／「教育課程に『平和学』講座」(毎日新聞1988年2月8日)／「大学に NGO 出身の教員 実践的知識教える」(朝日新聞1997年4月3朝刊)／「平和研究にジェンダーの視点を」(石井摩耶子、[学術の動向] 1997年10月、日本学術協力財団)／「フィールド・スタディ・プログラムの目的と今後」(大橋正明、[大学時報] 291号2003年7月、日本私大連盟)／「多角的な『平和学』から『市民的価値』を学ぶ—恵泉の『平和学』という視点」(上村英明、[大学時報] 353号 2013年11月、日本私大連盟)／「恵泉女学園大学の平和教育と平和学」(上村英明、[日本の科学者] Vol.53 No.1 January 2018、日本科学者会議)／「ドイツフィールドスタディ2000」(2000.7 恵泉女学園大学人文学部国際社会学科)／「いま、国境を越えて 恵泉女学園大学フィールドスタディ報告集2000/2001」(2001.1 恵泉女学園大学フィールドスタディ委員会)／「2002年度短期フィールドスタディの案内」(2002 恵泉女学園大学)／「第2回 長期タイフィールドスタディレポート集」(2002.3 恵泉女学園大学)／「2006年度長期フィールドスタディの案内」(2005 恵泉女学園大学)／「恵泉女学園大学人間社会学部体験学習プログラム報告集2005/2006」(恵泉女学園大学)／「2008年度 第9期 長期 FS レポート集」(恵泉女学園大学人間社会学部長期 FS レポート編集担当)

## 学部・学科 研究科・専攻 の変遷

(新) 新設 (名) 名称変更



(作成 安藤和子 小関毅彦)